

令和元年8月1日 第88号 発行/熊本県菊池郡大津町議会 編集/議会広報編集特別委員会 印刷/創文印刷
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富天	山部 良二	三宮 美香	賛成 ○	反対 ●
一般会計補正予算	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	11	4
固定資産評価員の選任につき同意を求めること	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会

検索

詳細は
こちら

大津町議会HP会議録



一般会計補正予算への討論 プレミアム付商品券の是非が争点



反 対

プレミアム付商品券事業は町民の理解が得られない。

理由は二つある。一つは、消費増税の影響緩和と言いながら参議院選挙目当てであり、少ない年金で暮らしている方に失礼なやり方である。

二つ目は、税金で行う事業であるのに効率的ではない。



荒木 俊彦
議員

賛 成

国の施策を一町民として考えた時に、利用できるものは利用するべきだと思う。

プレミアム付商品券事業に100%賛成ではなく、より良い方法はあると思うが、国が決めたことなので選挙で判断を任せたい。



永田 和彦
議員

プレミアム付商品券事業は、これから実行委員会で決めるということで制度としては曖昧さが大きく、本当に有効に生かされるかわからない。

もう少し制度を固め、改めて提案すべきではないか。



佐藤 真二
議員

当予算は国からの支出で使い方も決められている。

より良い方法があるかもしれないが、大津町だけ実施しないとなれば不利益を被るのは町内の対象者や事業者である。ここは可決し、十分に周知しながら制度を最大限に活用すべき。



金田 英樹
議員

6月定例会は土、日に一般質問を開催

5日から11日までの会期で開きました。

今定例会では一般会計補正予算などの18議案を審議・可決しました。

一般質問には8人が登壇しました。

議員の視点 一般会計補正予算に関する質疑

発言の一部を抜粋して掲載しています

豊瀬 和久議員

プレミアム付商品券事業について
2点伺う。

1点目は、商品券一枚あたりの額面はいくらか。500円にするべきではないか。

2点目は、購入できる対象者が3歳未満の子育て世帯と住民税非課税者に限定されているが、国は自治体が最も適切と考える方法で実施することが認められている。であるならば、全住民が購入できるようにすることが最も適切だと思うがいかがか。

【答】一枚あたりの額面は、今回のプレミアム付商品券は使いやすいように500円にしていこう。今回の事業は国の100%補助を受けて行う事業なので、国の方針に沿った形で子育て世帯と住民税非課税者で行う。

永田 和彦議員

プレミアム付商品券事業の悪用を防止する必要があると思うが何らかの対策は取っているのか。

また、低所得の方で、プレミアム付商品券を買うお金がない方がいるのではないかと心配される。

公平性の観点からもそのような人のことも考えておく視点が必要だと思うがいかがか。

【答】対象となられる個人または世帯宛に通知書を出して、その通知書と引き換えに購入する方法を考えている。

また、広く周知を行い、より使いやすくして、より良いプレミアム付商品券にしていこう。

荒木 俊彦議員

プレミアム付商品券事業の対象者は、住民税非課税者と3歳未満の子育て世帯となっているが、対象数は何人・何世帯か。

また、前回実施したプレミアム付商品券事業の購入実績はどうだったのか。

また、お一人でいくらまで購入できるのか。

【答】住民税非課税者が約6000人で3歳未満の子育て世帯が約1200世帯である。前は5500世帯のうち約60%が購入された。購入できるのは、5000円の商品券を4000円で5回購入できる。最高で25000円分を20000円で購入できることになる。

佐藤 真二議員

移住支援事業補助金は県の事業だと思うが、町が何かやらなければならないことがあるのか。

また「支援のパッケージ」となっているが他の取り組みはどのようなものか。畜産・酪農収益力強化の補助金は平成30年度からの繰越の事業であり、繰越の原因の分析がある。問題を解消して、今回の事業が行われる必要がある。

【答】パッケージは、他にマッチング支援事業、起業支援事業があるが、町が今回行うのは移住支援事業である。繰越の原因は、畜舎建設におけるボルト不足が一番の原因。それについては現在竣工している。今回のメインの事業は搾乳ロボットを製品として導入する事業で支障はない。

経済建設委員会 レポート

スポーツコミッションの 中長期計画を明確に示せ



スポーツコミッションにかかわる
地域おこし協力隊
(向かって左から川野さん、家入さん)

Q 補助金をもらうのはいいが、2年目以降予算がない状況。今後3年～5年の間でどの様な計画でやっていくのか、今

A 新たに立ち上げた肥後おおづスポーツコミッションへのスポーツ庁からの助成金が減額されているが大丈夫か。

A 8000万円で申請をしていた。内示額は、527万6千円だった。事業規模の調整により、大きな影響はないと思っている。

当初計画の減額は

意見

町の観光行政は目標や責任が明確ではない。毎年同じ事を繰り返しているのではないのか。事業はボランティアでは続かない。利益があるから町になるようにしっかり要望をおさえて進めていきたい。

A 2年目、3年目以降、財源は必要となってくるので、しっかり中長期計画を立てて進めていきたい。



総合体育館でおこなわれた
バドミントン九州大会

文教厚生委員会 レポート

事業の効果・その後の管理 継続した取り組みを



前回おこなった
プレミアム付商品券

意見
効果に疑問がある。今回は事業終了後に菊池園域などで実績を比較するなどの検証をしてほしい。

A 前回は全世帯向けに実施され、約6割が購入した。

Q 平成27年度と同様の事業で効果はあったのか。

A 消費税引き上げに伴う影響を緩和する目的で、低所得者と3歳未満の子育て世帯が対象。これから協議しながら、より事業効果が出るよう取り組む。

プレミアム付商品券事業は効果の検証を



老朽化してきている
仮設住宅

A 担当への直接相談はないが、地域支援合いセンターに相談があった場合は連携して対応している。

Q 入居者からの相談の状況は？

A 今回は、4つの団地の外観部分と、各棟における外観・外壁・基礎・床下部分の点検を行う。

Q 地震から3年が経過し、仮設住宅も老朽化している。問題の発生や相談は出ているのか。

A 落ち葉が詰まり雨どいから雨漏りが発生する不具合に都度対応している。

**熊本地震から3年
仮設団地の管理状況は**

総務委員会 レポート

新庁舎は復興のシンボル スピード感を持って対応を



新庁舎イメージ

Q 2回の入札不調の原因は

A 職人不足に伴う人件費・労務単価の上昇、資材の高騰が大きな原因

Q 物価の上昇は想定できたのではないのか

A 業者の積算と市場価格との差が想定より大きかったのではないかと

**新庁舎建設成功に
導く制度設計を**

意見
転居の費用として支援金の一部を先に支払うなど町独自の取り組みを行い移住希望者がすぐに転居できる仕組みが必要。

居住支援事業の概要

概要	東京一極集中の解消を目的とした事業。東京23区在住者または通勤者で、熊本に移住し、就職した者に対して移住支援金を支給するもの。 (支給要件) ・就業先が、県が支援金の対象としている企業であること ・1年以上の就業及び5年以上の定住予定であること ※その他要件あり
支給額	1世帯上限100万円(単身上限60万円)

※令和元年10月より実施予定

Q 移住支援は大阪などからの移住も対象になるのか

A 今回は、東京23区からの移住のみが対象

委員会レポート

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの常任委員会があります。
議員は必ずどれかの委員会に入らなければなりません。全議員が出席する本会議とは別に、各委員会でもその委員会に委ねられた議案に対する話し合いがされます。



総務委員会	町全体の総務・企画・会計・監査、議会、選挙、その他
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育、住民

Q 町の鳥獣被害対策は

A 捕獲隊体制の強化や補助金導入で

山本 富二夫議員



民家にも出没するイノシシ

その他の質問

- ・自治会・区に男女共同参画の推進
- ・立野ダムの見学会を年1回は実施を

Q 今年の冬、高尾野区でのイノシシの姿。犬が吠えても逃げない写真である。

「自分の住まいの周りに電柵設置が必要な時代が目の前に来ている」

鳥獣被害を少なくするためには、猟師・わな師の免許取得者及び、地域の協力者を増やしていくかなければならない。

その為には、町からの補助金は必要である。

水俣市は電柵購入で50基250万円、大津町は15基で75万円の補助金の支出だ。

鳥獣対策費の総額は、水俣市は600万円、大津町は100万円だ。

水俣市に比べたら対策費が少ない、増額の検討を出来ないか。

A イノシシ・サル等の農作物の被害は年々増加傾向にある。捕獲隊の支援や新規猟銃免許取得支援等については、今後検討する。

(町長)

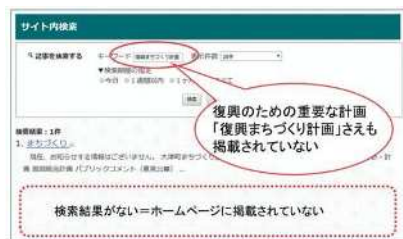
最近の市街地での目撃情報の多発を受け、人的被害を未然防止する必要がある。支援策の研究をする。

(部長)

Q ホームページの情報公開の在り方

A 問題は認識。改善に取り組む

佐藤 真二議員



情報公開が不足している事例

Q 町のホームページが新しくなつて一年が過ぎた。以前よりよくなった面もあるが、全体的に情報の質と量が大きく後退しており問題が多々ある。以前の同様の質問に対し、町長は「職員意識が重要」「情報発信の指針を検討する」と言われた。

今の状況を見て、改めて指針の必要性を指摘したい。

A 日頃から情報の提供に努めているがまだまだ

不十分なところがある。

(町長)

指摘のとおり、問題のケースが見られる。昨年10月に、町で大津町のホームページの運用管理規定を定め取り組んでいるが、現実としてはなかなか本来あるべき姿に至っていないと感じている。

今後さらには職員の意識醸成や、関係課と協力しながら、発信すべき情報の漏れ等に関するチェック体制や、掲載方法のあり方についても検討し、全庁的に取り組んでいきたい。(総務部長)

その他の質問

- ・子どもの権利条約の浸透について
- ・策定中の子ども子育て支援事業計画について

町政を問う 一般質問



大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 豊瀬 和久議員 | 5. 永田 和彦議員 |
| 2. 山本富二夫議員 | 6. 山部 良二議員 |
| 3. 佐藤 真二議員 | 7. 金田 英樹議員 |
| 4. 荒木 俊彦議員 | 8. 坂本 典光議員 |

Q 緊急時のために町にも液体ミルクを常備しておくべき

A 乳幼児健診で活用し防災意識の向上に繋げる

豊瀬 和久議員



子育て・健診センターに常備された乳幼児液体ミルク

Q お湯に溶かすことなくそのままに与えられる便利な乳幼児液体ミルクの国内での製造、販売が開始された。

液体ミルクは、お湯や清潔な水がなくても簡単に飲ませることができ、災害時に赤ちゃんの命を助ける貴重な栄養源となる。

液体ミルクを家庭備蓄しておくことの重要性の周知を図るとともに、緊急時のために町にも常備しておくべきだ。

A 町の宝である幼き命を守ることは大切なことだ。

もちろん各家庭で備えておくことも必要だと思う。乳製品は、長期間の保存ができないので、液体ミルクを大量に備蓄することは難しい。

乳幼児健診等で活用するなど、常備という形で運用し、防災意識の向上に繋がるような取り組みを進めたい。

(町長)

その他の質問

- ・LGBTなどの同性カップルに婚姻相当の関係を認める「パートナーシップ制度」の導入について
- ・レンタサイクル事業について
- ・避難所自動解錠ボックスの設置について
- ・投票率を向上させる取り組みについて

Q 医療費18歳まで無料化へ

A 子育て支援体制の充実に取り組む

山部 良二議員



子育て・健診センター

その他の質問

- ・中小企業地域振興基本条例の制定を問う
- ・高齢者交通事故対策について

Q 兵庫県の明石市では、市全体で子育て支援に特化したため、子育て世代が集まり、活気に溢れ、子育て予算は何と2倍以上、税収は5年前より21億円増加している。子育て支援に投資を行えば財源が生まれることが証明された。

A 本町でも子育て家庭が増えている。社会情勢の急速な変化の中、地域で支え合う環境づくりが重要で、子育て支援の充実や安心して出産・子育てできる環境づくりに向けて国や県等との連携を図りながら、元気で健やかな福祉の町づくりに取り組んでいる。

(町長)

Q 町営住宅の入居待機改善と町の家賃収入確保

A 民間の手法なども研究し、改善に努めたい。

金田 英樹議員



大津町の町営住宅

総室数805のうち 空き98室	
修繕待ち	53室
入居募集中・募集準備中	15室
解体予定や改修時の一時利用などの政策的な空室	30室

その他の質問

- ・LINEを活用した情報発信およびコミュニケーション戦略

Q 町営住宅への入居希望者（入居待機者）がいる一方で、長期間空室となっている部屋もある。空室期間を短縮することは入居希望者にとっても、家賃収入を得る町にとっても有益である。

A 町営住宅805戸中、一般空室が68戸、うち未修繕物件が53戸。平均的な空室期間は約1年半で、半年以上の空室物件は50戸。熊本地震後は改修業者が見つかりにくく、入札でまとめて発注しているため修繕が遅くなっているのも理由の一つ。個々に調査を行い、費用対効果も考慮しながら、改善を図りたい。

(町長)

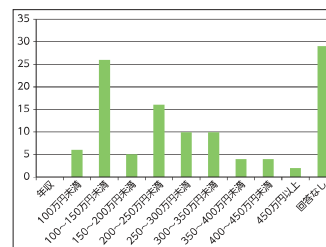
Q 保育待機児童解消のため、保育士の処遇改善を

A 更に改善は必要であり、実態調査を進める

荒木 俊彦議員



保育士アンケート（年収）調査結果
2018年 有効回答人数 合計112人
(配布者数249人・有効回収率45.0%)



その他の質問

- ・町民ボランティア活動中の保険補償
- ・公共下水道区域内の浄化槽から下水道への転換

Q 幼児期の上質な教育や保育は、将来の糧や豊かな社会につながる。保育に責任を持つ行政として入所待機解消は待ったなしである。

A 保育士の処遇改善にもっと真剣に取り組む必要がある。町のアンケートでも保育士の年収があまりにも少ない。全国平均の私立保育園の給料は月給21万3千円、年収で319万円程度と聞いている。保育所の運営費は、税金と保護者の負担金である。保育士の処遇改善のため、財源が足りているかどうか。きちんと調査して対処が必要である。

Q マイナンバーカードの推進

A 時代の流れへの対応は重要である。

永田 和彦議員



その他の質問

- ・政府統計不正問題について

Q マイナンバーカードの機能を高め、社会保障費の削減や健康維持に有効活用しなければならぬ。また、第4次産業革命のポイントはデータ活用、個人のデータは知らないと活用され、売られてしまう。保護が困難で逃げようがなく、マイナンバーカードによって町民各位の信用スコアを高める施策が必要と考える。

A 取引や売買において相互に評価される時代が到来した事を認識しなければならない。自治体ポイントとして、健康づくりや子育てポイント、マイナンバーカードと連携する取り組みが今後必要になると考える。

(町長)

議会広報 全国から続々と視察を受け入れ中！

埼玉県戸田市・下益城郡美里町・宮城県加美町の方々が議会研修にこられました



議会モニター制
年に1回意見交換会
(戸田市)

初めての議会だより発
刊します
(美里町)



巻末の葉書の反応と効果は？
(3市町)



尚網大学生の
レポートの経
緯と内容は？
(3市町)

議会事務局との
かわりほどの
程度ですか？
(3市町)

町民との意見交換会では
どういった意見が？
(3市町)



全国コンクールで
入賞実績あり
(加美町)



職員の民間企業への出向

A 企業連絡協議会と相談する

坂本 典光議員



その他の質問
・職員の昇格試験について
・失敗事例のデータベース化のその後

Q 小泉内閣のころから
非正規の社員が多くなり、
正規社員との格差がつい
てしまい、真面目に働い
ても、生きていくのが精
いっぱいという人が目立
つようになった。
そういう社会情勢の中
で、公務員に対して「常
識がずれている」「仕事
にスピード感がない」
「やる気に欠ける」と苦
情をいう人も多くなった。
公務員は全体の奉仕者
サービス業である。民間
で働く人の気持ちも理解
できるような努力も必要
かと思う。資質向上のた
めに職員の民間企業への
出向を検討すべきではな
いか。

A 民間企業への出向は
今までやったことはない。
大津町には70社を超す誘
致企業がある。
今後、企業連絡協議会
の皆さんと相談して、地
元の企業の中での交流が
できればよいと考えてい
る。
民間の頑張っている姿
を見て「信頼される職
員」「大津を愛する職
員」「挑戦できる職員」
に育っていくと思う。(町
長)

経済建設委員会 意見交換会

課題を経済委員会で 話し合い改善に取り組む

大津町には「ゾロ」の像が大津
中央公園へ令和2年度中に設置
されることが決まりました。



子どもたちが稽古
に励んだ武道場の
被災をはじめ、生
活が一変した大津
町には、「戦闘員」
のゾロが駆け付
けます。剣道が盛
んな土地柄を活か
して、子どもた
ちと広場で剣の修
行を重ね、地震に
負けない町づくり
を目指します。



©尾田栄一郎/集英社

大津建設組合
組合 現在の建設業
の現状や町への要望及び
提言についての報告。

南阿蘇村議会
総務常任委員会
南阿蘇村 企業誘致
や商業施設は、大津町に
頑張ってもらいたい。交通の
不便さを解消することに
より、大津町で働く人が
南阿蘇村に定住してくれ
る、町づくりを進めたい。
大津町 両町村にワ
ンピース像の設置も決ま
り、お互いの交流人口が
増すきっかけにしたい。

委員会 資機材の不
足や人手不足への対応は
時間がかかると思うが委
員会としても努力する。
組合 資材不足は東
京の状況が一段落すれば、
解決に向かうと思う。
大津観光3団体
にっこり会 駅北口
周辺が暗いので街灯設置
の検討をできないか。
町執行部 一番良い
方法を検討する。
委員会 皆さんの意
見を出して頂き改善でき
るように議会も応援する。

議会傍聴後のグループディスカッション（教室にて）

桑原（文責）、松本、工藤、土肥、野口、堀脇グループ

Q1. 議会を傍聴して、どのような印象を受けた？

雰囲気としてはピリついていて敵対心むき出しなのかと思っていたが、地域をより良いものにするために有意義な話し合いを行っていると感じた。また、休憩中の穏やかな雰囲気や、傍聴者とも談笑している姿が印象的だった。

Q2. 質疑応答に対しての感想は？

子どもの権利侵害に関して、「校則は生徒のためのものだから先生と生徒両方で見直すべきではないのか」という質問があった。それに対し、回答者側は「学校の教育方針に沿ったものを校則にしているが、学校が忙しく、見直されていない可能性がある」と回答した。

最近ブラック校則が問題になっているが、その裏で毎年校則を見直していることを初めて知った。だが見直していない学校も多い気がするので、先生の指導を早急にしてもらいたい。



龍（文責）、江河、緒方、中村、前田グループ

Q1. 議会を傍聴して、良い印象を受けたところは？

それぞれの質問に対しての資料が用意されており理解しやすかった。また、思っていたよりも和やかな雰囲気や、議論しやすそうで良いと感じた。

Q2. 通告内容についてどのような印象をもった？

全国的に取り扱われている問題は地方でも広めていくべきだなという内容だった。大津町だけに関係する内容もあった。規模関係なく問題提起してあると感じた。また、LGBTや電動アシスト自転車がどういうものかという言葉の説明があり分かりやすかった。

Q3. 議会を傍聴しての個別の質問の感想は？

「自分は同性愛者です」と堂々と言える世の中ではないため、少しでも多くの人に理解してもらうための話し合いを進めてよいと思った。大都市だけでなく、地方でもこのようなことが話し合われているのは意外だった。町から小規模ながら行動していくのは素敵だと思った。

また、LGBTの政策について、ガイドブックを作っていたり、職員研修が実施されていたりと、多くの制度を固めていて前向きな姿勢を感じた。



特集

尚綱大学生によるレポート 17

議会傍聴（一般質問）の感想

現代文化学部 1年 緒方菜南子（あさぎり町出身）

A. 議会全体の雰囲気

今回、議場で議会を傍聴するのは初めてでした。通告者が答弁者から納得のいく返答を得ることができなかった場合、通告者が答弁に対する疑問や不満に思ふ点などを述べ再度答弁を求めるなど慎重に進行されていました。

また、想像以上に議場は狭かったため、通告者の熱意を身近に感じることができました。



B. 気になった質問事項についての感想「自治会等に対しての男女共同参画の推進」

質問の要旨

【大津町の自治会・区の役員には女性が少ない。自治会の政策・方針決定の場における女性の参画を推し進める取り組みはあるのか】

自治会・区の役員に女性が少ないのは女性の参画を推し進める取り組みがないからと思っていましたが、アンケートの結果より56.2%の女性が男性に役員をやってもらった方がよいと感じていることに大変驚きました。取り組みがないのではなく、女性に積極性がないという面もあることが意外でした。

現代文化学部 1年 工藤留奈（熊本市出身）

A. 議会全体の雰囲気

今回初めて議会傍聴に参加しました。参加前は緊張感があり、場の空気が張り詰めているイメージでした。

しかし、質疑応答時は緊張感がありましたが、休憩時は傍聴席の方と議員の方が話をしていた、和やかな雰囲気や少しイメージが変わりました。



B. 気になった質問事項についての感想「保育の待機児童状況と保育士の確保について」

現代では、待機児童が問題となっていますが、この話題で1番驚いたのは、保育士が不足していることです。収入が少ないことや勤務時間外労働が問題となっているそうです。待機児童を減らすためには、保育施設の増加、受け入れ人数を増やすだけではなく、保育士の確保も必要だと知りました。保育士を確保するには、待遇をよくしなければならないと思いました。

今回の議会傍聴に参加したことで、大津町の様々な課題や、初めて知ったこともあり、とても勉強になりました。

議会に参加して

参加者数 50 人

傍聴するのは難しいですが、議員全員の質問通告書に目を通すだけでも、「今、大津町で話し合われている事」がわかります。

今回の議会では、地域住民の方々の生活を便利にするための具体的な提案や、大津町の中小企業振興を目指した条例策定という大所高所に立った質問、更には子どもたちが安全に通学し安心して授業を受けられるための事業のその後についての質問などが身近で興味深い項目でした。

その中で、私が足りないと感じている「町民参加の町づくり」に関する情報発信の多様化についての質問もありません。議会は町の方向性を決めるとも大切な場です。私たち町民がその場に参加しやすくなるような工夫を更に求めていると思いますし、私たちもその情報をきちんと受け止めて議会を見守る姿勢と行動が求められていると感じました。



桑原正浩
(大津町引水)

「ここの2年ほどは、できるだけ時間をとって町議会を傍聴しています。すべての議案を

議会を見守る姿勢と行動が求められている

6/27(木) 議員研修会を開催しました！

講師には早稲田大学マニフェスト研究所 中村健 事務局長

有志の役場職員約20名も参加した講演では、一般質問のあり方や政策サイクル、全国の議会の動向等について具体的な助言がありました。



講師：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長・熊本市政策参与 中村 健氏

大津町議会では毎年識者を招いて、議員研修会を開催しています。本年度は昨年度に続き、27歳から徳島県川島町の町長を二期務められ、現在は早稲田大学マニフェスト研究所の事務局長である中村健先生をお招きし、「町村議会の現状と今後の展望」について講演をいただきました。



町職員の皆さんも参加されました

中村事務局長は「議会自体が地域課題をどう見極めるのか、最終的な成果に向けて実践することが町の活性化につながる人々が住んでくれる町となる」と、自身の町長経験も交えて具体的に話されました。

参加した議員からは、「議会の活動を住民の方にも知ってもらえるきっかけを、より多くつくりたい」と、活発な意見や質疑が多かったです。

議会だより
初めて登場

議会で答弁される皆さん
議会にのぞむ意気込みを
インタビューしました！



家入 勲
町長

町民の皆さんの幸せのため、町、議会、町民一体となって町の未来を「協創」してまいります。



田中 令児
副町長

答弁する機会は少ないですが、分かりやすい答弁を心掛けています。



吉良智恵美
教育長

具体的に丁寧に答えたいと心掛けています。議員皆様の思いを受け止めながら、学校が子どもたちの状況に合わせて創意工夫していただけるように考えています。



藤本 聖二
総務部長

町民に対して話す気持ちで分かりやすく具体的に答えています。



豊住 浩行
住民福祉部長

住民目線で緊張感をもって真剣に答弁しています。



市原 紀幸
教育部長

子どもたちの健やかな成長と生涯学習を推進する立場で答弁しています。



田上 克也
経済部長

町の経済振興策が住民の方にもご理解いただけるような答弁を心掛けています。



村山 龍一
土木部長

ご理解いただけるように一生懸命答弁しています。



坂本 光成
選挙管理委員会書記長(総務課長)

有権者の方の選挙に対する関心を高め、投票率の向上に努めます。



荒牧 修二
農業委員会局長

優良農地の保全に努めていきます。